

承認番号 20221169

進行肺がんのため当院に入院・通院された呼吸困難感のある患者さんの臨床情報を用いた研究に対する協力をお願い

研究課題名「進行肺がん患者における呼吸困難感の変化と支持療法：後ろ向き観察研究」

研究責任者 慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科
教授 矢ヶ崎 香

研究分担者 慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科
看護学専攻 後期博士課程 船戸 真衣

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院された患者さんの臨床情報を用いた「進行肺がん患者における呼吸困難感の変化と支持療法」に関する調査研究を計画いたしました。

この研究は医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願い申し上げます。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

1．本研究の目的、意義

この研究の目的は、進行肺がん患者さんの呼吸困難感の程度の変化と支持療法と言われる、呼吸困難感を緩和する治療およびケアの実態について明らかにすることです。これらを明らかにすることにより、呼吸困難感をマネジメントする方法について示唆を得て、患者さんの生活の質（QOL）の維持、向上に貢献します。

2．対象となる方

2013～2022年に当院で亡くなられた、進行肺がん患者さんのうち呼吸困難感を経験された方を対象としています。

3．研究方法および期間

研究実施機関：慶應義塾大学病院

研究実施期間：研究実施許可日～2026年3月31日

研究方法：日常診療で行われる治療で得られた、研究対象となる方の年齢、性別、病歴、治療状況、身体症状などの情報を研究者等が診療記録などから収集し、呼吸困難感に対する治

療・ケアや症状について分析いたします。

4 . 協力をお願いする内容

日常診療で行われている治療に関する診療記録、看護記録について収集させていただきます。

5 . プライバシーの保護について

- 1) 研究にあたってプライバシー保護に配慮し、得られた情報は研究者が責任をもって管理いたします。調査によって得られた情報は研究目的以外に利用することはありません。また、得られた情報を第三者に提供することはいたしません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんのデータは個人情報を削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用いたします。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化した診療情報を一致させる情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理いたします。
- 4) 収集したカルテの情報は、パスワードで管理した USB メモリに保管し管理いたします。USB メモリは研究責任者の研究室の棚に鍵をかけて保管いたします。データの解析は、パソコンをインターネットに接続しない状態でのみ行います。
- 5) 研究終了後、学会誌への投稿期間を加味し全ての情報記載物は 1) ~ 4)の方法を遵守し、厳重に個人情報の保護に努めて保管いたします。学会誌への投稿後、約 10 年間は保管し、保管期間経過後は全てのデータを復元不可能な状態に消去、またはシュレッダー等で細断し、破棄いたします。

6 . お問い合わせ

本研究に関する質問や相談等は、下記へご連絡ください。

本研究において臨床情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な処置を行いますので、その場合も下記へご連絡をお願いいたします。分析開始となります 2023 年 6 月以降はデータの削除ができかねますので、情報の利用を望まれない場合は、6 月までにご連絡をお願いいたします。

研究責任者 慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科 教授 矢ヶ崎 香

〒160-8582 東京都新宿区信濃 35 慶應義塾大学 看護医療学部 研究室 9

電話 : 03-5363-2157 e-mail : yagasaki@sfc.keio.ac.jp

研究分担者 慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科 看護学専攻

後期博士課程 船戸 真衣

e-mail : h22104mf@sfc.keio.ac.jp